

東武動物公園 ニュースリリース

動 27-16 号
平成 27 年 7 月 28 日

ホワイトタイガーの子どもの脚の診療結果 其の二

東武動物公園(東武レジャー企画株式会社 埼玉県宮代町 社長:日置岳人)で飼育しているホワイトタイガーの子ども 4 頭(長男:スピカ、次男:マリン、三男:リーフ、四男:アポロ)の内、スピカの右膝の手術を 7 月 24 日に、日本大学生物資源科学部付属の動物病院にて行いました。

約 4 時間にも及ぶ手術を終えたスピカは、翌日お昼頃に園に戻り、現在、園内の動物病院で入院中です。術後の様子は、食欲もあり元気です。順調にいけば今週中に抜糸を行い、8 月上旬には展示を再開できる予定です。

また、同様の疾患にて先月手術を行った、リーフは経過観察として CT 検査を行いました。運動不足のため、脚の筋肉が落ちていますが、手術をした骨の位置には異常がないため、7 月 26 日より、展示を再開し、筋力回復に向けて、リハビリ中です。

(これまでの経緯)

今年 1 月 25 日に、ホワイトタイガーが 4 頭(長男:スピカ、次男:マリン、三男:リーフ、四男:アポロ)誕生しました。

当園では、2013 年 3 月にも 4 頭のホワイトタイガーが生まれており、その時の長男(スカイ)が、後ろ右足の膝蓋骨内方脱臼(しつがいこつないほうだっきゅう)と診断され、同年 12 月に手術を行いました。

この経験を踏まえ、今回は早期発見・治療を心がけ、2 月 1 日より始めた健康診断時(その後毎週 1 回実施)に脚の具合を注意して観察していました。また、2 月 11 日には、スカイの手術を行った日大の先生にお越しいただき、診察を行い、同月 22 日には、レントゲン撮影を行いました。その結果、2 頭(スピカ、リーフ)の後ろ脚にスカイ同様、膝蓋骨内方脱臼の症状がみられました。

しかし、体はまだまだ成長過程のため、自然治癒にも期待し、2 月 23 日から保定が可能な限り、脚を曲げ伸ばすマッサージを施しました。(ほぼ毎日約 10 分間、4 月 30 日まで実施)

その間、3 月 24 日、4 月 12 日に、再び日大の先生による再診、レントゲン撮影を行いました。症状は大きく変わりませんでした。このままでは、今後、歩行に支障がでてくる可能性があるため、日大生物資源科学部の先生とも相談した結果、6 月 26 日に日大動物病院にて診療を受けました。

病院では、CT 検査などを行い、症状が悪化していたリーフの右膝の手術を先行して行い、7 月 24 日に、リーフの術後の経過観察と、スピカの右膝の手術を行いました。

膝蓋骨内方脱臼とは・・・膝のお皿のような形をした骨(膝蓋骨)が内側に脱臼する疾患です。

※ 取材については、動物の体調などにより撮影範囲が限られますのでご相談ください。



展示を再開したリーフ(左)、入院中のスピカ(右)「H27.7.26 撮影」

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画株式会社 業務部 山口・中嶋・前田

Tel 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>